

駐車場問題 団体交渉速報

「少額の通勤手当で大学の経費削減に寄与している自動車通勤者から、なぜさらに金を取るのか」という本質的疑問に、有松理事、一切答えられず！！

金沢大学で働くすべての教職員の皆さん！ 7月27日午前11時より、金沢大学本部棟6階の大会議室で、金沢大学教職員組合と、大学当局による、駐車場問題をめぐる初めての本格的な団体交渉が行われました。大学側からは有松総務担当理事（事務局長、学長権限を委任）、財務部長、総務部長らが出席。組合側からは山上委員長、清水副委員長、榎本書記長、矢淵、村井両特別執行委員らが出席しました。議題は駐車場問題です。

大学当局は昨年11月6日開催の財務施設企画会議で、駐車場有料化の方針を決定しました。団体交渉で当局が用意したペーパーによれば、平成22年の役員懇談会でこの方針の検討が始まり、6年越しに様々な問題点を検討してきたといいます。さらに今年に入り、交通計画小委員会で制度設計の細部を詰めてきた結果、今の時点で教職員組合など、従業員代表への説明を開始したということです。

しかしまず、**この議題の団体交渉に財務担当である向理事が出席してこないのはいかがなものでしょうか。**有松理事は「財務担当理事が来たら『見解の相違ですね』と、交渉にならないから」と説明がありました。もしそれが本当なら、労働条件の不利益変更について誠実交渉義務に違反する、明白な法令違反、不当労働行為です。次回団体交渉にはぜひ、向理事の出席を強く求めます。

長期間、検討してきたという割に、この問題の大学側の方針は、驚くほど杜撰でいい加減です。経営協議会の結論にみる有料化の理由は、「自己収入拡大の方策」「受益者負

担」の二点に尽きます。しかし従業員から金を巻き上げるのは、実質的な給与カットであり、「自己収入の拡大」ではないことは、子どもでもわかる理屈です。給与の実質的なカットには、最高裁判決が求める「高度な必要性」が必要です。唯一残る論点は「受益者負担」です。しかし駐車場を利用する自動車通勤者は、本当に「受益者」なのでしょうか。そうではないことは、ちょっと考えれば自明です。

たとえば、涌波宿舎からバス通勤すると通勤手当は、20,806円ですが、自動車通勤者は4,200円、なんと16,000円もの通勤手当削減に寄与しています。さらに、自動車には最低でも25～30万円程度の年間維持費用がかかります。仮に全走行距離の半分を通勤に使っているとすると、自動車通勤者は通勤にその半額を自己負担しています。**年間5万円程度の通勤手当ではまったく不足、約10万円の車両維持費用を自腹で持ちだし負担しているのです。**自動車通勤者のどこが「受益者」なのでしょうか？ 逆に大学の通勤手当削減に協力する利益提供者であり、維持費用の持ち出しを強いられている負担者であることは、明々白々ではないのでしょうか。

団体交渉で組合側は、執拗にこの点を問い糾し、これだけの貢献と負担をしている自動車通勤者から、さらに金を取るのはまったく筋違いだと指摘しましたが、有松理事からは「少額だから何とか…」といった、理由にならない理由しか語られませんでした。要するに、大学当局側のあげる理由は、完全に破綻しています。妥協の余地はまったく

ありません。白紙撤回あるのみです。

細部の制度設計もいい加減で、「1日300円のチケットを貼って駐車した車が、学生か一般市民か、どうやって見分けるのか、といった基本的な質問にも答えられない状態です。**混乱が拡大すれば監視カメラの設置が増えるなど徴収コストがかさみ、結局、当局がもくろむ3000万円の収益が「捕らぬタヌキ」となり、最後は料金値上げに繋がりがねません。**

教職員組合は、こうした不当な駐車場有料化方針を撤回に追い込むべく、最後まで奮闘します。

金沢大学教職員組合 加入申込書

申込日 年 月 日

氏名

部局名

職種

内線番号

電話

学内便で金沢大学教職員組合（角間）までお送りください。

組NEWS 号外 合

2016年8月5日 発行

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
発行：金沢大学教職員組合執行委員会
住所：金沢市角間町 角間内線2105
直通電話(076)262-6009 (FAX 同)
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/